

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

トヨタフィロソフィー

幸せを量産し、モビリティを社会の可能性に変えて、人類と地球の持続可能な共生を実現する。

生産台数
1,000万台

② 中長期の経営戦略

1. 足場固め

1,000万台のクルマづくりの競争力と多様な挑戦の実行力を発揮できる環境構築。生産現場の基盤整備、未来工場プロジェクトの推進。

3. 連結ガバナンス強化

グループ6社によるTPS自主研の活動、ガバナンス・リスク・コンプライアンス会議の設置、子会社17社への重点監査実施。

2. 認証問題への対応

再発防止14項目の実行、経営と現場の乖離解消、法規主監を約40名に増員、開発の節目管理強化。

4. モビリティカンパニーへの変革

Toyota Mobility Conceptのもと、カーボンニュートラルと移動価値拡張を重点に、マルチパスウェイによる多様なエネルギー選択肢提供。

③ 対処すべき課題

① 生産基盤の維持強化

- ・日本の生産年齢人口が今後15年で2割減少。建屋・設備老朽化への対応。
- ・暑熱対策や働きやすい生産ライン構築による生産性と働きやすさの向上。
- ・未来工場による自動化拡充と多様な働き方導入。

② 認証体制と現場環境改善

- ・経営と現場の乖離解消と正しい仕事ができる環境整備。
- ・設備・備品老朽化への投資と負荷が高い部署の人員拡充。
- ・2線監査強化と開発の節目管理による品質確保。

③ エネルギーとモビリティの融合

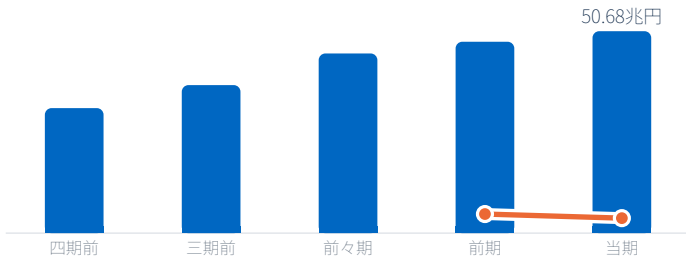
- ・電気と水素への将来対応と現実的なトランジション推進。
- ・FCEV・BEV・ハイブリッド車の多様なラインアップ拡充。
- ・ArenaプラットフォームでのSDV実装と安全・安心機能の強化。

面接で使えるポイント

- ・トヨタフィロソフィーの『幸せを量産』という使命で、1,000万台のクルマづくりを支える仕事ができる。
- ・認証問題を通じた現場改善で、経営と現場が共に課題解決する文化を実践している企業。
- ・マルチパスウェイで電気・水素・内燃機関の多様な選択肢を提供し、持続可能なモビリティ社会を実現。

証券コード 7203

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
50.68兆円営業利益率
7.4%財務健康度
56点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 65.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,006万円

輸送用機器内 1位/82社

平均年齢
40.5歳

輸送用機器内 72位/83社

平均勤続
15.1年

輸送用機器内 65位/83社

女性管理職
3.9%

輸送用機器内 35位/72社

男性育休
79.0%

輸送用機器内 30位/69社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 全部は守れない。だから「絶対に止められない業務」を決める。

